

011

木造の耐震・耐火シェルター「グラセーフ」

取組主体

株式会社アサノ不燃

従業員数

3人

想定災害

地震等

実施地域

全国

- 地震による家屋の倒壊や火災に強い、特許取得の木材不燃化技術を用いた、木造シェルター「グラセーフ」を販売。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

耐震性と耐火性を兼ね備え、周辺住宅への延焼も防止する木造シェルター

- 株式会社アサノ不燃は、南海トラフ地震や首都直下地震等、大規模地震のリスクにある日本において、独自の木材不燃化技術を活用して人々の命や財産を守る手助けができないかという使命感から、平成 27 年にプロジェクトチームを発足した。
- 熊本地震を受けて構造強度を再検討し、平成 29 年にかけて耐火・耐震試験を行い、木造の耐震・耐火シェルター「グラセーフ」を試作した。平成 30 年に特許を取得し、本格的な販売準備を開始した。1 階の 1 部屋の床を撤去し設置するか、建物外の敷地内に固定することで自立したシェルターとして設置することが可能である。
- 特許取得の木材不燃化処理「セルフネン」技術を用いることで 1 時間の耐火を実現し、マグニチュード 7 の直下型地震の再現実験も耐え抜き、耐火・耐震性を実証した。シェルター自体が燃えないことに加えて、周辺への延焼も防止し、木造密集エリアの大規模火災を防ぐ。さらに、防腐、防蟻、防カビ性も備えている。
- 間伐材を使った LVL（単板積層材）を使用しているほか、耐火木材はリサイクル可能で、燃焼による CO2 発生を抑制するため、環境負荷軽減にも寄与している。



グラセーフ



耐震試験の様子

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 自宅にシェルターを持つことで、防災用品や貴重品を安全に管理できる。また、コロナ禍における在宅避難や移動困難な高齢者の避難にも適している。防音効果もあるため、普段は楽器演奏等の防音室としての活用もできる。

3 現状の課題・今後の展開等

- 耐火木材は全品検査による徹底した品質管理が必要となるため、一般的なシェルターよりもコストが高くなり、家庭への設置が思うように進んでいないのが現状である。今後、設置工事をする代理店制度を進め、販路拡大をしたいと考えている。また、高齢者住宅施設や介護施設、病院のような場所への大型シェルター導入等の発展を検討している。近年、海外の森林火災による建物焼失が増加しており、こういった建物への活用も期待できる。

担当者の声

- 日本の国土の約 7 割が森林です。しかし、林業は手間暇がかかるのになかなか高値が付きにくいのが実態です。このまま衰退し、森が荒れ果ててしまえば、水害や獣害等がますます増えてしまいます。そこで、木の弱点を克服し、「燃えない」「腐らない」木材を作れば、非常に価値ある植物資源になるのではないかと考えたことが、当社の木材を不燃化する技術のスタートです。燃えない、崩れない木質空間のシェルター「グラセーフ」は、命と財産をしっかりと守ります。お近くの工務店・設計事務所で施工可能ですので、お気軽にお問合せください。

問合せ先

株式会社アサノ不燃 法人番号：3010701024277
TEL：03-6666-0315 FAX：03-6666-0310 E-Mail：asano-info@funen.jp

サイト URL



動画

